



南港こどもひろば

育てる

子どもたちは未来の担い手です。未来を活力ある社会とするためには、すべての子どもが家庭や地域で愛されながら、個性豊かに、たくましく育っていくことのできる環境を築いていくことが重要です。住之江区では、区民の皆さんがより安心して子育てができ、子どもたちが夢と希望を持って学ぶことのできる環境の実現を目指して、一層の取組を進めていきます。

■地域ぐるみで子育てする環境整備

核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育てに対する不安感、負担感が大きくなっています。こうしたことから、子育てに必要な情報を的確に発信していくとともに、親子が気軽に立ち寄り、親子一緒に交流したり、子育ての相談ができる居場所づくりを進めていきます。

□待機児童解消の取組

少子化が急速に進む中、大阪市などの都市部においては、待機児童の早期解消が強く求められています。

住之江区では、保育施設などとのコミュニケーションを密にし、ニーズを的確に把握するとともに、関係局や「待機児童解消特別チーム」と連携しながら取り組みの充実を図るなど、子育て世帯を応援していきます。

□子育て情報の発信

子育て世代のニーズを把握し、子育てマップ、子育て支援情報誌「わいわい」の発行や、SNSの活用など、多様な手法による子育てに関する情報発信を強化していきます。



子育てマップ



子育て支援情報誌「わいわい」

□気軽に子育ての相談ができる居場所づくり

専門的な相談や親子が気軽に集い交流ができる「つどいの広場」や「子ども・子育てプラザ」の機能の充実、強化を図るとともに、地域の人々が中心となって運営している「子育てひろば・サロン」への支援を進めていきます。



海の町「海の子クラブ」

■保護者、地域、区全体で支える学校教育

社会が多様化、複雑化していく中、子どもたちを取り巻く様々な課題に対応していくためには、これからの教育を学校だけの責任とするのではなく、学校、家庭、地域、区役所が連携し、一体で支えていくことが重要です。住之江区では、学校を地域のシンボルとして、地域ぐるみでの教育に取り組んでいきます。



連携・協力のイメージ図

□地域と一体となった学校運営

各学校に設置されている学校協議会運営の補佐や教育行政連絡会からの意見聴取を行い、学校への支援や学校現場の情報を区民の皆さんと共有するとともに、保護者や地域の学校運営への連携、協力を促進します。また、区政会議などでいただいた区民の皆さんからのご意見を、学校支援事業に積極的に反映します。

□児童・生徒、保護者への様々な支援

悩みを抱えていたり、支援が必要な児童、生徒、保護者に対するサポートとして、全小中学校へのスクールカウンセラーの配置や、申請のあったすべての学校への発達障がいサポーターの配置に加え、新たにスクールソーシャルワーカーを巡回派遣します。また、家庭児童相談員を増員し、就学期を迎える児童の保護者や学校との相談体制を充実します。



小学校で元気に遊ぶ子どもたち

■先進的教育にチャレンジ

ICTの発展やグローバル化の進展など、社会が急速に変化していく中で、これからの教育には、子どもたちが「生きる力」を身につけ、たくましく自立していくための力を育てていくことが求められています。住之江区では、学校教育の場を通じた先進的な教育に積極的に取り組み、子どもたちの豊かな未来を切り開いていきます。



辞書引き学習

□学習意欲の向上に向けて

住之江区内の小中学生を対象に、漢字検定や英語検定の受検を支援します。また、子どもたちの学習への興味を高めるための手法として、一部の小学校で辞書引き学習を導入しています。さらに、学習指導員を派遣し長期休暇中や放課後の学習機会の提供により、子どもたちの学習意欲向上や、学習習慣の定着を図ります。

□キャリア形成に通じる教育の推進

国際的なネットワークを持つNGOと連携し、多様な文化体験や、海外とのコミュニケーションを通じながら、国際協力に関する理解を深めるなど、子どもたちのキャリア形成につながる教育を推進していきます。



NGOと連携した取組のイメージ



タブレットを使った授業

□ICTの活用

タブレットPCの小中学校への配付などにより、子どもたちの成長に応じたICT教育を進めていきます。また、ICT機器を積極的に活用し、子どもたちの論理的・創造的思考力や問題課題解決能力の向上を図ります。



支える

新北島こそだてサロン「すくすく」

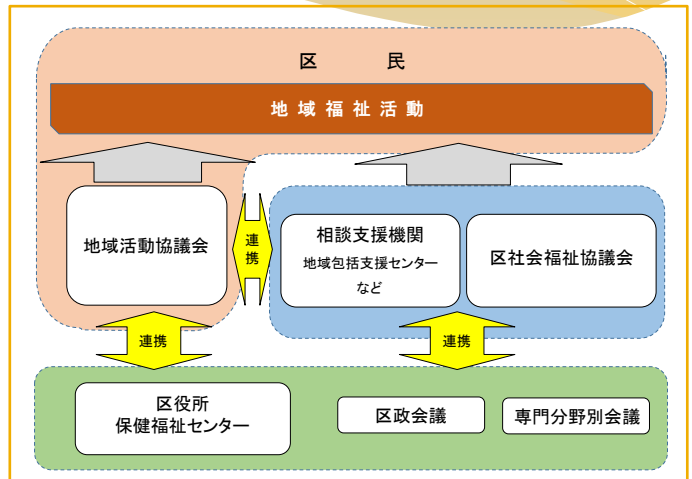
少子高齢化が一層進展し、地域住民相互のつながりが希薄化している今日、あらゆる人が、地域で安心して暮らしていくことのできる社会を実現していくことが、より重要な課題となっています。住之江区では、高齢者や障がいのある方など、すべての人々が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送ることができる地域づくりを進めていくとともに、様々な困難の中で生活に困窮している人々が自立した生活が送れるように支援していきます。

■支援を必要とする人々を支える体制づくり

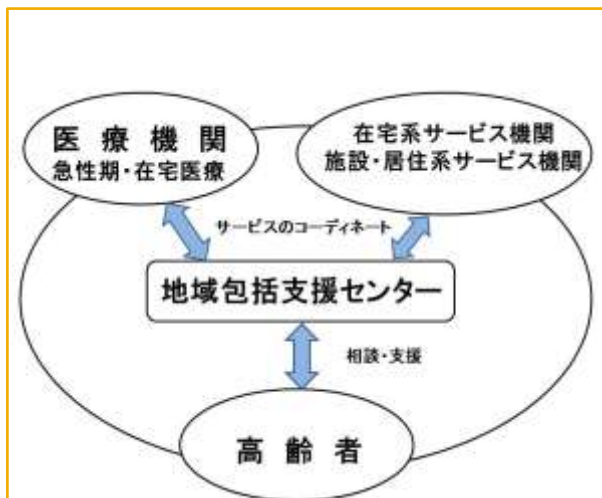
高齢者、障がいのある方などの支援を必要とする人々が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域コミュニティを主体とした地域福祉の推進や、福祉と医療との連携を強化していきます。

□「ふだんのくらししあわせプラン」による地域福祉の推進

これからの地域社会では、支援を必要とする人々に気を配り、地域で見守っていくことや、災害に備えた地域での支え合いが重要です。住之江区では「ふだんのくらししあわせプラン」に基づき、みんなで支え合う豊かなコミュニティづくりを、地域活動協議会を中心に、区社会福祉協議会などの関係団体と一体となって進めていきます。



これからの地域福祉を支える仕組みのイメージ図



ネットワークのイメージ図

□医療と介護とのネットワークの構築

高齢者が、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括支援センターを中心とした医療関係機関(急性期病院、在宅医療機関、在宅系サービス、施設・居住系サービス等)のネットワークを構築します。

□次世代の担い手の育成

社会がより一層高齢化していく中で今後の地域福祉を担う人材を確保していくことが重要な課題となっています。このため、イベントの開催や、多世代が交流できる仕組みづくり、他分野で活動する人材・団体への働きかけなどにより、地域福祉活動などを支える次世代の担い手を育成します。



森之宮医療大学のもりもり元気体操 事前の体力測定

■地域で取り組む健康づくり

社会の高齢化が一層進展していく中、一人ひとりの生活の質を高め、地域の活力を向上させていくためには、健康寿命を伸ばしていくことが重要です。このため、高齢者を含めた、幅広い世代の健康づくりを、地域の皆さんとともに進めていきます。

□運動の習慣化による健康づくり

適度な運動の継続は、高血圧や糖尿病などの生活習慣病の予防、改善に効果があります。区民の皆さんの日常生活に運動が習慣づいていくよう、モデルコースを紹介したウォーキングマップの作成や、講座・イベントでの運動に関するアドバイスや啓発・指導を行っています。



すみれ会 健康体操



アスール幼稚園でのキッズクッキング

□健康に過ごすための食生活

今日の食生活には、エネルギー、食塩の過剰摂取や野菜不足などの食事の偏りがみられます。食生活の改善は健康への第一歩であり、子どもから高齢者までを対象とした食育を通じて、区民の皆さんの健康づくりを推進していきます。

□地域で活動する団体、NPO、企業との連携による健康づくり

住之江区内では大阪市の「すこやかパートナー」にご登録いただいている団体を含め、様々な地域団体、ボランティア団体、企業が地域の健康づくりに取り組んでいます。これらの団体との連携を一層強化しながら、イベント・講座の開催や、情報誌・インターネットによる普及啓発などを行っています。



きずなステーションでの足ツボ教室

■暮らしを支えるセーフティネット

生活に困窮し、支えを必要としている人々には、身近に寄り添いながら、困窮の要因に応じた支援を行っていくことが重要です。このため、地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員とも連携しながら、日々の生活への必要な支援を行うとともに、自立した生活ができるよう、ご本人と共に問題解決に取り組んでいきます。

□総合的な相談窓口

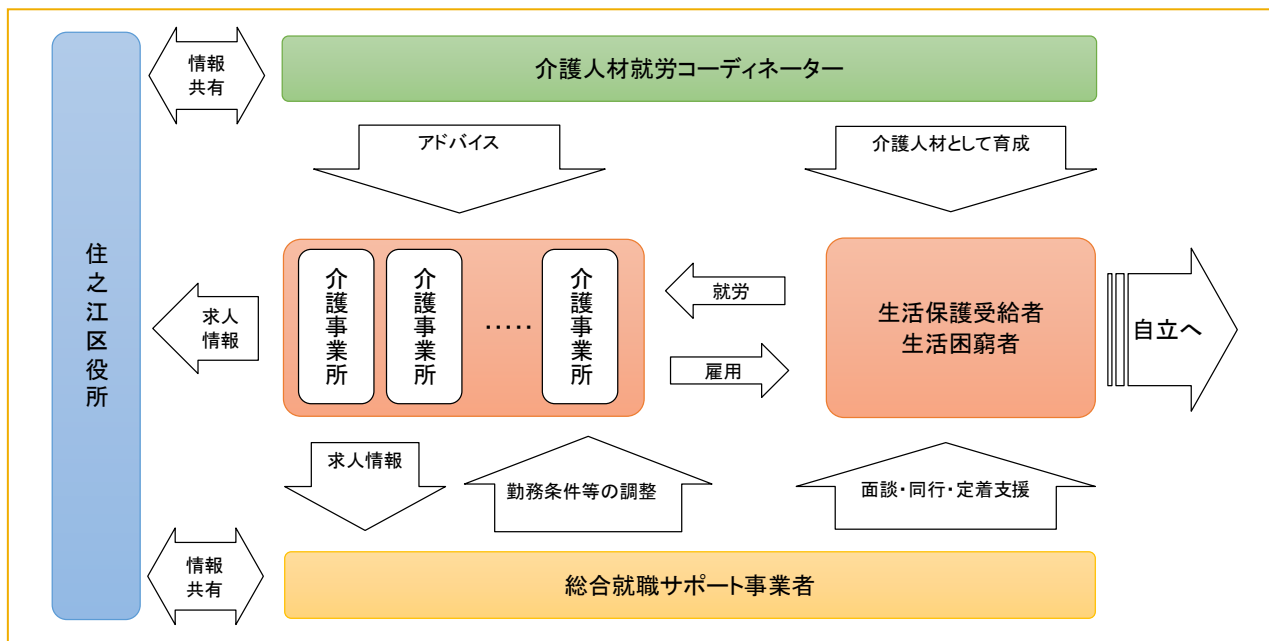
区役所には、支援を必要とする人への専門の職員を配置した、総合的な相談窓口を設置しています。支援員は、ご本人の意思を尊重しながら、困窮の要因や家族の状況、年齢などの実情に合わせ、自立に向けた適切な支援が受けられることができるようサポートします。



窓口での相談の様子

□就労による自立支援

生活保護受給者や生活困窮者の方に、民間の支援事業者の専門性、ノウハウを活用した、総合的な就労支援を行います。また、これに加えて、住之江区では、こうした人々を介護事業所の担い手として育成し、就労へのコーディネートを行うことで自立することができるよう支援するとともに、事業所での人材不足の緩和を図ります。



介護人材就労コーディネート事業 イメージ図